

『サムソンとデリラ』(Samson and Delilah) は、1949 年のアメリカ合衆国の歴史映画。セシル・B・デミル監督、製作、ヴィクター・マチュア、ヘディ・ラマール主演。『士師記』のサムソンとデリラの物語を原作としている。

ストーリー

ダン族のサムソンは素手でライオンを倒し、一度に 1000 人を倒すほどの力を持っていたが、女にだらしなかった。ペリシテ人の娘セマダールに求婚したサムソンに横恋慕したセマダールの姉デリラは 2 人の仲を邪魔し、結婚式の席上サムソンを侮辱する。サムソンは暴れだし、混乱の中でセマダールと父は死ぬ。デリラは太守の寵妃となって太守をそそのかし、サムソンを捕らえるが、サムソンは大暴れして逃げる。ペリシテ人はデリラを利用してサムソンの力の秘密を探ろうとし、サムソンはついに頭にかみそりをあててはいけないという秘密を話してしまう。デリラはサムソンに毒酒をのませ、怪力のもとである髪の毛を切ってしまう。力を失ったサムソンは囚われ、目をくりぬかれ、ガザの牢で粉をひかされ、見世物にされる。サムソンは神に祈って力を取り戻し、鎖でつながれていた二本の柱を倒して建物を倒壊させ、ペリシテ人を道連れにして死ぬ。

キャスト

デリラ ヘディ・ラマール

サムソン ヴィクター・マチュア

セマダール アンジェラ・ランズベリー

ガザのサラン ジョージ・サンダース

傷ついた使者 ジョージ・リーヴス

チューバル ウィリアム・ファーマム

アーター ヘンリー・ウィルコクソン

ミリアム オリーヴ・デアリング

ハゼレポニット フェイ・ホールデン

ハイシャム ジュリア・フェイ

サウロ ラッセル・タンブリン